

## 柳瀬川が氾濫したら？

### ■柳瀬川氾濫の危険性

「志木市洪水ハザードマップ（新河岸川・柳瀬川）」によると、**100年に1回程度の確率**の大雨（2日間総雨量333mm）で柳瀬川が増水、氾濫し、中央の森式番街だけでなく**志木ニュータウンのほぼ全域が、水深1～2mの浸水により水没する**と想定しています。しかし最近は台風による豪雨が激しさを増しており、100年に1回程度と言っても楽観はできません。

### ■住居への被害は？

鹿島建設は設計段階で各棟の1階を高床とし、**1階が地表から約1.5mの高さ**に設けられています。このため、建物が鉄筋コンクリートで強固であることもあり、1～2m程度の浸水であれば、1階住居部分は辛うじて免れることもあろうかと思われれます。

### ■高層棟への被害

高層棟（6・7号棟）の地下室は、浸水により天井まで水没します。各戸の倉庫と自転車への被害や、更に深刻なのは、地下室には電話・TV・インターネット・消火栓ポンプ等の設備があり、これらが水没すると高層棟の全戸の機能が停止します。

エレベーターも最下部のピットが浸水して使えなくなります。地表から柳瀬川の水が引いた後も、地下室には膨大な水量が残り、排水・復旧にはかなりの日数を要することが危惧されます。

### ■全棟が停電・断水

中央の森式番街の敷地内には、各棟の横に変電室が設置されていますが、これらの設備に浸水した場合は停電となります。

集会所の地下室には給水プラントがあり、停電時用のエンジンが設置されています。その排気管口や排水管等を通じて浸水して地下室が水没した場合は給水プラントが停止し、全棟の全戸が断水してしまいます。

### ■水害への応急対策

柳瀬川が氾濫するような豪雨が予想される場合の対応について、次の行動や準備が必要となります。

#### 1. 自動車を移動

駐車場の車は、前日に自主的に高台に避難させる。豪雨の当日、志木ニュータウンは、陸の孤島となり自動車の移動はできなくなります。

#### 2. 止水板の設置

高層棟地下室への浸水を少しでも防ぐために、自主防災会は前日に高層棟地下駐輪場の

入口に止水板（右図）を設置して封鎖します。

**自転車の出入りはできなくなりますので**予めご了承ください。



#### ■大地震の備えと同様の準備を

柳瀬川氾濫による洪水は、住居自体への影響は比較的少ないものの、**大地震と同程度のインフラ被害をもたらします。**

停電・断水に備えて自宅で籠城できるように、備蓄に心がけましょう。

以 上